

日時：平成30年3月29日（木）15時00分～

場所：倶知安町役場 3階会議室

事務局	1 開会
会長	皆様、お疲れ様です。前回は吹雪の中だったと思いますが、ようやく春らしくなってきました。今回は、検証案の最後の部分について審議していくこととなります。次回は4月19日、その際、答申案を事務局でまとめこれについて審議していくこととなります。それでは議事に入ります。 前回は、基本目標4まで審議しましたので、今回はその残り基本目標5・6について皆様の評価をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。それでは、基本目標5「安全に暮らせるまち」について、事務局より説明します。
事務局	2 議事 (1) 前回の審議会の振り返り (2) 第5次総合計画検証案の審議 それでは、38 ページ、基本目標5「安全に暮らせるまち」、行政分野は防災、消防、救急救命、防犯、交通安全、消費者行政、空き家対策となっています。この基本目標には個別目標が2つあり、「災害への備えの充実」「日常生活の安全性の向上」で、個別事業は20あります。 39 ページをご覧ください。個別目標1「災害への備えの充実」ということで、達成率79.9%、達成度評価Bとなっています。こちらでは、防災、消防関係で構成されており、16事業の中で、防災全般では、大規模災害時には公助だけではなく、自助・共助なくして十分な避難支援が実施できないという教訓から、災害発生時に特に支援を要する高齢者、障害者などの名簿を作成し、避難支援機関へ提供するとともに、町内会や自治会に地区防災計画の作成を働きかけ、地域の自助・共助力向上に努めてくものであります。第5次総合計画の中で一番主たる事業となったのは、防災無線の設置かと思われます。また、観光地ということから、無料Wifiの整備を実施しており、有事の際は、この電波を活用して災害情報を周知するといったものであります。併せて、住宅の耐震化への助成を建設課にて実施しており、昭和56年以前に建てられた民間住宅の耐震診断・改修の助成を行ってきたところです。制度はあるが、助成申請者は

いない状況にあります。耐震改修ではなく、住宅の建て替えをする人が多い傾向、また、リフォームをして耐震改修という活用もない状況にます。

消防関連としまして、近年では山岳救助隊やモービル隊が発足し、先日初代山岳救助隊長（倶知安消防署員）が新聞報道され、紹介されていました。アウトドア、山岳リゾート地として、羊蹄山やヒラフエリアの山々での山岳救助で充実させてきました。また、消防車両は年次更新で対応してきたところであるが、ひらふ地区のコンドミニアムに対応できる大型高所放水車（はしご車）が喫緊の課題であり、財政状況を踏まえながら計画的に進めていきたいと考えています。

救急活動として、救急救命士が 11 名倶知安消防署に配属されており、第 5 次総合計画が開始して 12 年が経過し、最初は 2 名程度で開始したが、11 名と計画的に資格取得し、増えてきたところであります。また、ひらふ地区の防火について、外国人オーナーが経営するホテルなどは、ポスターなどを掲示することを敬遠するほか、非常口案内板を嫌がる方が多く、消防検査終了後、案内板などを取り外しているケースもあるようです。消防としても、消防法令の遵守を浸透させるべく対応を続けていくことが重要と考えています。

次に 41 ページをご覧ください。個別目標 2「日常生活の安全性の向上」について、達成率 81.0%、達成度評価は B となっています。個別事業として、防犯事業、交通安全対策事業、消費生活相談事業、空き家対策事業の 4 事業で構成されています。防犯事業については、警察や防犯協会と連携しながら進めているところであり、防犯灯や防犯カメラの設置は財政上すべてに行き届いていない状況にある中、市街地やひらふ地区を中心に設置等進めてきたところ。また、町内での特殊詐欺については、大きな被害もない状況にあります。消費生活相談事業は、倶知安消費者協会と連携した事業であります。

防犯事業について、不審者情報があった場合、学校・保育所・幼稚園に情報を速やかに提供するフォーマットが形成されています。保育所であれば、保護者にもわかるよう、帰り（お迎え）の時間帯に玄関に掲示し、周知を図っています。

空き家対策事業は、国が空き家等対策推進に関する措置法の前に、町は条例を制定しています。町内会にも依頼し、気になる空き家をピックアップし、台帳を作成しているところ。行政代執行に至るケースは発生していない状況にあります。また、振興局が実施している空き家バンクについては、空き家を作らないよう、情報提供しているところであります。以上です。

会長	ただ今、事務局より説明がありましたが、ご意見等あればお願いします。
副会長	交通安全対策事業は、A評価となっている。振り返りのシートではB評価となっている。整合性が取れていないと思われるが。
事務局	一部抜けている箇所（施策が異なっている）があるので、事務局で修正します。
委員	消防団組織体制の充実がA評価とありますが、どのような結果であった伺いたい。
事務局	消防団は、職員を補完するものであり、地域ごとに消防団があり、防火活動を行っているところ。全国的に団員は減少している中、倶知安町は1名定員を満たしていない状況にあり、129名を確保している。その中で、女性消防団員も結成されており、組織としては充実されていることから、A評価となっていると思われます。
委員	自分も消防団に加入しており、事業としては、団員がこれだけいるということから、A評価なのか、そこについて伺いたい。
事務局	担当に伝えます。
事務局	消防署での振り返りについては、後ろに記載されているので、ご確認いただければと。
委員	青少年問題協議会で、団体から補導員を推薦してもらい、夏休み・琴平祭りなどで巡回活動いただいています。6月から月1回、午後6時半から1時間程度巡回しています。巡回していると気がつきませんが、街中を少し外れると、街灯も少なく暗い感じを受けます。小中高校生は、落ち着いた生活をしている現状もありますので、暗がりが少ない状況を作っていただけると良いと思います。町民も子どもへの関心をもって、帰りの時間帯でも良いので、外に出て見守ることで、より良いまちになっていくものと思っています。
会長	各学校と交通安全協会と町で、年2回、通学路の現地調査を行っている。そのような取組も含めて進んでいけば良いと思われます。
委員	校下で、いかに地域が子どもに関心を持つかが重要で、温かいまなざしを向けてほしいと思います。

事務局	俱知安町は、これだけ交流人口が多く、また多文化共生も競合していることもあり、安心感をいかにもたせるかということは重要と考えられます。
会長	交通安全はA評価となっているが、交通事故の1・2月の件数が対前年で23件増加しており、そのうちのほとんどが外国人という結果でした。すれ違う車の半分以上が外国人ドライバーで、外国人への交通安全の理解をいかにしてもらうかが、第6次に向けてということになるが、交通安全協会と観光協会で、雪道の講習なども行っており、大変好評であります。ただし、旅行者には課題が多くある状況にあります。
委員	防犯事業について、ゴミステーションの課題が各町内会で抱えており、ソフト面では一定程度できているが、ハード面は進んでいない状況にあります。防犯面でカメラを設置するなど、ごみ収集・分別などが守られていくものと思われます。
会長	英語表記やステーションの場所多くありますが、捨てる方の意識・モラルの問題もあるかと思われます。
事務局	不法投棄の防止で、カメラを設置したことがあります。設置したことで、ごみが捨てられなくなったという事案があります。カメラは本物とダミーを混ぜて設置することで効果もあると感じています。
委員	空き家対策事業で、A・B評価となっているが、町でどこまで携わることができるものか。
事務局	担当の評価はAであったが、事務局においてB評価としています。理由としまして、町内会を通じて空き家の状況を把握しているところまでとなっていますので、B評価としています。
委員	町の担当課・係は。
事務局	当初は、建築係が担当していた。条例が制定され、その後。住民環境課が担当となった。町内会の隣近所での危険箇所を町へ連絡し調査している。
副会長	私は空き家対策委員会の委員をしており、案件があれば委員会を開催しているところ。これまで、町内会から、以前火災等でそのまま

	の状況となっている家屋があり、動物などが入り込むなどの状況に連絡をうけました。その後、持ち主の弁護士を通じて親族へ連絡し、窓を塞ぐという対策で、町が費用を負担し、その後支払っていただくことを約束した上で実施した経過があります。雪で倒壊する危険などがあれば、委員会へ連絡していただければと。委員会自体は少しずつ機能しています。
委員	費用の立替は町が負担してくれるのか。
副会長	町では費用を立て替えるという前提で負担するが、持ち主がわからないなどは、協議を要すると思われます。
会長	それでは基本目標 6 について事務局より説明します。
事務局	基本目標 6 「次世代に引継げるまち」について説明します。分野が幅広く、環境、芸術、文化財、建設、公共交通、衛生、上下水道、北海道新幹線、高速道路となっています。達成率 77.8%、達成度評価は B です。個別目標は 6 つあり、事業数は 70 あります。 個別目標 1 「資源循環があり環境と共生するまちづくりの推進」については、3 つの事業で C 評価があります。雪氷熱エネルギー利用効果の確立について、倶知安産業クラスターと連携し、雪を活用したエネルギー事業を行っていましたが、新規需要がないことや、町独自で実施していたデータも古くなり、活用できない状況にあることから、C 評価となっています。当該事業は施設もないことから、第 6 次計画には登載しないことで進めています。まちなみ等環境保全事業は、環境基本計画が平成 28 年 3 月に計画案をまとめているが、発表等が遅れている現状にあるため、C 評価となっています。 水源林造成事業については、山田・樺山地区で雨水を水源として育成した樹木を売り収益とするもので、ひらふスキー場のファミリーリフト横付近で、一昨年の台風で倒木した樹木を売ろうとしましたが、入札不調で現在に至っているところ。十勝エリアで発生した台風により、補助金制度が確立されたため、平成 30 年度においてこの制度を活用し、まとめて販売するということを考えており、現状としては C 評価となっています。 そのほかの課題として、エコガレージが狭くなっており、搬入量も増加していることから、第 6 次での課題となっているほか、再生エネルギーについては、再生エネルギービジョンの策定がほぼ終了しており、今後バイオマス、地熱を活用した再生エネルギーが第 6 次計画で登載されてくると思われます。町有林については、生育状況が良く、ちょうど売り時であることから、平成 30 年度から間伐を

行い、順時販売していくことを考えています。

個別目標 2「美しく感性豊かな文化力があるまち」について、美術館・風土館業務が主な事業となっています。達成率 75.6%、達成度評価は B となっています。2 事業で C 評価となっています。

風土館は、大規模な展示替えができない構造となっていますが、来場者が 5,770 人（平成 28 年度）で、うち外国人が 89 人であり、歴史・文化に興味をもつ外国人が来場されています。町内には縄文無土器時代、縄文時代の遺跡が 10 カ所あり、石器も出土しており、今後の展示での活用、遺跡の活用については考慮していく必要があります。

個別目標 3「便利で豊かな快適な都市（まち）づくりの推進」について、達成率 75.6%、達成度評価は B となっています。この中で、統合 GIS 導入検討が C 評価となっています。庁内各部局で様々な地図を保持しており、それらをデータ共有するもの。住民との相互共有が困難であり、平成 27 年度から係も創設されていますが、動きがないことから、C 評価としています。除雪については、苦勞しながら雪対策基本計画・実施計画に基づき実施しており、年次計画で車両更新等行っているところ。町営住宅の維持管理については、町公営住宅長寿命化計画の策定後、見直しを行い、計画的に老朽化したところなどを改修しています。直近では羊蹄団地の改修を行ったところ。公園についても、長寿命化計画に基づき修繕等しているところ。道路関係については、財源との兼ね合いもあり、第 5 次総合計画後期において倶知安高校前の北 7 条西通を街路として数年かけて整備等していきます。公共交通は、第 5 次総合計画策定時から大きく変わり、タクシー不足が大きな問題となり、加えてバス・タクシーの運転手不足も全国的な問題となっています。第 6 次においてどのようにこれらを解消していくかが課題となっています。合同納骨塚は、平成 30 年度から運用を開始していくことで進めています。

個別目標 4「国際都市への基盤づくり」について、5 事業があり、達成率 79.2%、達成度評価は B となっています。第 5 次総合計画の中に札幌までの延伸が決定したほか、新幹線の高架化が認可されたなど、オール倶知安での要望活動が実を結んだ結果となりました。高速道路については、共和・余市間の着工や、倶知安・共和間の事業化、小樽 IC のフルジャンクション化など、大きな成果がありました。第 6 次計画では、駅周辺整備が一番の事業となると思われます。基本目標 6 については、以上です。

会長

基本目標 6 について、ご意見等ありましたらお願いします。

委員	個別目標4の北海道新幹線事務についてですが、琴和町内会の中心部が新幹線のルートとなっており、約80戸の家屋・土地が収用される状況にあります。2月の月上旬に2日間、琴和会館で収用対象への説明会が行われました。今年の雪解けから12月まで測量が行われ、平成33年の春までに更地にしてほしい旨の説明がありました。対象者からは、2年半で更地にすることは難しく、もっと情報を早く出してほしかったという意見があり、鉄道運輸機構は、転居先を見つけて更地にしてほしいとのことでありました。さらに同機構では今後、個別に説明していきたいと言っていますが、結局のところ転居先は各個人で探し、補償費は機構から各個人へ支払われるということで、対象者も納得の言っていない方もいます。アパートも収用対象で、居住者の転居先も用意する必要があり、困っている状況にあります。第6次では、解決できるよう取り組んでいただきたいと思っています。
会長	喫緊の課題は、行政が動いてほしいと思いますが、代替地も検討中となっており、どのように動いたらよいか困っていると思う。町の動きは先手を打ってほしいと思います。
委員	どこに転居するかということで、若い人は駅周辺に住みたいと思うが、高齢者は、町営住宅に住みたいという意向もあります。胆振線跡地に高齢者用の共同住宅の建設を町長へ要望しているところ。町がアンケートをとっており、今ごろでは遅いと思う。
事務局	どこまでが対象となるかが見えていない状況の中で、日程がずれ込んでいるものと思われます。目標ラインも決まっていますので、いかに個別対応を行っていくかが重要と認識しています。
委員	風土館について、美術館では英語パンフレットを作成しPRしてきたところ。観光客のスキー以外の時間の楽しみ・文化的なものも必要になってくると思われます。風土館は設立当初から、地域から物品などが寄贈され展示している現状で、2年前に収蔵庫をオープンできる状態になっているが、まだ写真などが透明ファイルに入ったままで、アーカイブ化されていない状況にあります。これは懸案事項でありまして、C評価となっていると思われます。今、まちが急激に変化しており、若者が一度立ち止まって、昔の人はどのように打開してきたかなどを、収蔵している写真から学んでほしいと思います。
委員	風土館内の雨漏りが発生しており、大規模な改修が必要となってい

	ます。平成 30 年度予算では、予算化されていない状況にあります。
会長	基本目標のカテゴリーの作りこみについて、第 6 次ではどう考えていくが課題で、暮らす・働く・学ぶ程度の大きなカテゴリーで設定しても良いかと思われます。
委員	観光税（宿泊税）の導入について検討されていますが、アウトドアの多様化・外国人の救急搬送などがある中、倶知安消防署に状況等確認したところ、外国人が救急発送された人数は、134 人（平成 28 年度）で、全体の 17% でありました。万が一の事故のために観光税を使うことはできないものでしょうか。例として、救急車の車両購入などに活用することなどですが。
事務局	宿泊税の導入については作業等進めていますが、順調に行くと、2019 年の 11 月からとなります。使途は、ニセコ町も同様に検討しており、広域連携としてリゾートエリアの質の向上と、町独自の魅力を向上させるものを想定しています。リゾート地として、安心・安全、防災体制の充実は必要と思われます。
委員	除排雪について、第 6 次計画策定に考慮いただきたい点があります。この町で一番苦慮するのが、朝の除雪で家の前に雪が置かれ、その雪を処理することだと思います。京極町の分譲地では、堆積場所を確保し、そこへ道路除雪の雪を押し付けています。この地区に居住している人は、前日に道路へ雪を出して、朝、除雪車はその雪を堆積場所へ押すという町並みになっています。今後、分譲等行う場合は、その点について考慮いただければと思います。（歩道段差もなく、土地の確保が必要）
	3 その他
会長	全体についてですが、第 6 次を見据えた中で、全体の組み立ては、数値目標（K P I）、測定可能な目標の設定、ルーティーンと期間事業の区分が多く意見としてありました。また新幹線を見据えたまちづくりは大きな課題となってくる、これら 3 点が中心となってきます。31 年 1 月くらいまでに素案作成をしたいというスケジュールですが、私からの提案としてですが、農業や観光、福祉などの現状について、担当課との意見交換・説明する機会をつくってもらえると、策定に役立つものと思われます。個々の事業については多くのご意見はいただいておりますが、その他ご意見あればお願いします。

委員	当初から言っております、日常業務は掲載せず、新たに取り組んでいく計画を掲載し、その進捗を確認していくことが良いかと思われます。
会長	まち・ひと・しごと創生総合戦略はこのとおりかと思われます。
副会長	数値目標の設定は必要で、住み替え補助を町建設課で行っており、応募者（申請者）が、公営住宅の抽選に外れて、申請できなかったという経過があるので、補助金活用のシステム（庁内）が必要と思われます。
委員	評価方法について、A・B・Cではなく、第6次の最後を10段階として、1年目は1段階、2年目は3段階まで進んだ一など、進捗がわかる（見える化）が必要と思われます。
会長	評価委員会がこの審議会など、どのようにPDCAを回すかも必要。5年に1回では遅いかも。
会長	次回については、4月19日（木）で、皆さんの意見を反映しながら、答申案を作成していくことで進めます。本日はこれで終了します。
事務局	評価（達成率や達成度評価）はこれでよろしいでしょうか。
会長	観光中核施設など色々な意見がありましたが・・・。